

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいうえお		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 26日		R7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	R7年 2月 26日		R7年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での情報共有	朝礼・終礼を実施し、専用ノートに記録している。その日出勤していない職員にも周知できるよう工夫している。	継続していく。
2	おたよりやブログ等で子育てや支援に関するコラムを掲載し、保護者と共通認識を持てるよう取り組んでいる。保護者からは好評を頂いており、「相談しやすい」という声も聞かれている。	保護者が子育てをする上で孤独を感じないよう、子育てを経験している職員の苦労話等も交えながら、寄り添った対応を心がけている。	引き続きSMSや電話、面談を活用していく。
3	利用児童のほとんどの子が当所を好いてくれており、家庭内で「“あいうえおに行きたい”とよく言っている」と保護者からうかがっている。	見守りだけでなく子どもと同じ目線で一緒に遊びを楽しむこと、職員自身の感情で動かないこと、むやみに怒らないことを徹底している(必要に応じて注意や叱ることはある)。	引き続き、楽しさを感じながら様々なことを体験し、育ちを支えていけるような環境を作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別に合わせた環境設定が難しい。気持ちが不安定な子と遊んでいる子が同じ空間にいるため、さらに切り替えに時間を要してしまう。	建物の構造上個室がないため、1フロアで全員が過ごしている。	パーテーションや仕切り用のカーテン等の購入。ただ、音の遮断ができないためどこまで効果があるかは不明。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		あいうえお				公表日	2025年 3月 25日		
		利用児童数				30名 (兄弟4組)		回収数	22
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1		1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19			3	・活動の様子を見たことがないのでわからない	職員は法令に則って配置していますが、参観等がないため事業所に来られる頻度が低いことから、伝わりにくかったものと思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	3		4	・活動の様子を見たことがないのでわからない	構造化等の環境設定に関しては、現在事業所内でより力を入れて取り組んでいます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1		1			
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21			1	・ワーキングメモリーや発音のことを相談した際、迅速ではなかったものの対応してもらえた。・理解はしてくださっているが、子どもの特性に適しているのか判断がつかない。・とても丁寧に対応いただいている。新たな課題が出てきた際も、すぐに支援方法を再検討してくれて感謝している。	様々な特性のお子様が進められており、全てを網羅した取り組みの提供については課題があります。保護者様から頂いたご相談に対し、適宜支援内容の見直しを行ってまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	2		1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22				・とても具体的に作成されている。	引き続き、お子様の課題と保護者様のニーズをすり合わせながら計画を作成してまいります。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21			1			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	1	3	7	・交流の幅がどこまでの範囲をさすのか不明だが、そういった活動は見聞していないと思う。・子育てサロン等にお出かけはしているが、特に交流はないのではないか。	日頃の活動の中で児童館や子育てサロンへ伺い、近隣にお住まいのご家庭様と遊びを通じて交流を図らせて頂いていました。継続して実施してまいります。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				・とても丁寧に説明してくださった。	引き続き、より伝わりやすいご説明を心がけてまいります。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	5	4			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	20	1		1	・帰りの送迎時に、その日の様子をたくさん伝えてもらっている。	引き続き、送迎時やお電話、SMS等を通じて情報共有を図り、ご家庭様と共通認識を持った上でお子様へ支援を提供してまいります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	6	8	・保護者間での交流はない。	今年度保護者会の実施には至りませんでした。実施してほしい旨のご意見を頂いていることから前向きに検討してまいります。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1		1	・幼稚園でのトラブルを相談した際、すぐに返答をもらえた。	事業所外での出来事にもしっかりと耳を傾け、様々な角度から分析をし、ともに考える場として当所をご活用いただけますと幸いです。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	3			・SMSで情報伝達できることがありがたい。	引き続き、SMS等を活用して情報共有を図ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1			・おたよりは毎回目を通している。 ・ブログの更新を毎回楽しみにしている。	当所からの一方的な連絡になってしまわないよう、引き続き子育てや支援等に関する話題も取り上げながら、より充実したおたよりやブログの作成に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1	1	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			3	・子どもも参加しやすく、本人なりに防災訓練は大事なイベントと認識している様子。	災害が発生した際に自身の身を自身で守ることができるよう、引き続き大切な体験の場として実施してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	2		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22				・お迎えが来るとワクワクしている。また、「明日はあいうえおに行く日」と前日から楽しみにしている。・利用日になると朝から喜んでいる。・今日はどのような活動をするのか、毎回ワクワクしながらお迎えを待っている。	なかなかご家庭内で取り組むことのできない遊びや活動を積極的に実施し、引き続き体験を通して学ぶ機会を設けてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22				・親子共々、心の支えになっている。	事業所内での様子に対する支援だけでなく、事業所外での様子も教えていただきながら、総合的な支援を検討・実施してまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	あいうえお	公表日	2025年 3月 25日
------	-------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		個室がない為、簡易的なパーテーションを用いてブースを区切ったり、床に敷いているジョイントマットの色で視覚的に遊ぶ空間を分けたりしている。	静と動の遊びが同じ空間で行われており、目の前の遊びに集中できない時がある。個室があると対応できる幅増える。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		場合によっては系列事業所から応援を呼ぶことがある。	配置数自体は法令を遵守しているものの、実際の出勤人数は不足していると感じることが多々ある。安定した支援を提供する為には、もう少し人員が必要。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		元々設置されているパーテーション（壁面）を有効活用し、必要な情報だけが児童に伝わるように配慮している。	個室があると対応できる幅増える。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>	個室がなく常に認められる環境にはないが、パーテーション等を用いて空間を分ける対応が可能である時にはできるだけ空間分けをするように配慮している。	空間分けができる時とできない時があり、個室を必要としている児童に迅速に対応できないことがある。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		全ての意向に対処することは難しいかもしれないが、評価表の結果だけでなく日頃の保護者とのやり取りの中でご意見等があれば、すぐに共有をし改善に向けて協議を行うように心がけている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ミーティングの活用は勿論のこと、日頃の何気ない会話を通じて職員同士の考えを伝え合い、改善できることについては迅速に対応できるよう心がけている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部から研修案内を頂いた際、事業所内で希望者を募って限られた職員のみが任意で参加をしている。法人内の研修としては、虐待研修のほか事業所独自に実施することが多い。	従業員全員で、専門講師やスーパーバイザーによる研修を受けられるとスキルアップに繋がると思う。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		ミーティング内で意見を出し合い、最善の支援を検討している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			インフォーマルアセスメントは日頃から行っているが、フォーマルアセスメントには至っていない。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		平日の活動内容については、職員が日替わりで立案している。土曜の活動（イベント）は案を出しあって取りまとめている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		その日出動しない職員も情報を把握できるよう、専用のノートに内容を記載して共有漏れがないように配慮している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		その日出動しない職員も情報を把握できるよう、専用ノートに内容を記載して共有漏れがないように配慮している。	終礼は実施できない日もあるが、朝礼同様に専用ノートに各自必要に応じて記載をし、全員で周知できるよう配慮している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		全員ではないが、特別な配慮が必要な家庭については入学先と情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		<input type="radio"/>		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		連絡ノートやSMSを通じて、様子について共有を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後、茶話会等が実施できるような体制を整えていきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			訓練は実施しているが、家庭にマニュアルを周知することは行っていなかった。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		災害発生に備えた訓練は実施している。BCPは3月中に策定する。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			予防接種の確認は未実施だった為、今後行っていく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーの検査結果表を提出して頂いたり、医師から受けた指示を保護者経由で教えて頂いている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		安全計画の作成および安全管理のための研修は未実施。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		提携している医療機関を伝え、万が一何かあった際の対応についても周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			ミーティングで身体拘束について協議を行った。今後支援計画に盛り込んでいく。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいうえお		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 26日		R7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	R7年 2月 26日		R7年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での情報共有	朝礼・終礼を実施し、専用ノートに記録している。その日出勤していない職員にも周知できるよう工夫している。	継続していく。
2	おたよりやブログ等で子育てや支援に関するコラムを掲載し、保護者と共通認識を持てるよう取り組んでいる。保護者からは好評を頂いており、「相談しやすい」という声も聞かれている。	保護者が子育てをする上で孤独を感じないよう、子育てを経験している職員の苦労話等も交えながら、寄り添った対応を心がけている。	引き続きSMSや電話、面談を活用していく。
3	利用児童のほとんどの子が当所を好いてくれており、家庭内で「あいうえおに行きたい」とよく言っている」と保護者からうかがっている。	見守りだけでなく子どもと同じ目線で一緒に遊びを楽しむこと、職員自身の感情で動かないこと、むやみに怒らないことを徹底している(必要に応じて注意や叱ることはある)。	引き続き、楽しさを感じながら様々なことを体験し、育ちを支えていけるような環境を作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別に合わせた環境設定が難しい。気持ちが不安定な子と遊んでいる子が同じ空間にいるため、さらに切り替えに時間を要してしまう。	建物の構造上個室がないため、1フロアで全員が過ごしている。	パーティションや仕切り用のカーテン等の購入。ただ、音の遮断ができないためどこまで効果があるかは不明。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あいうえお

公表日 2025年3月25日

利用児童数

4名

回収数

1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。				1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。				1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。				1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。				1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	あいうえお				公表日	2025年 3月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		個室がない為、簡易的なパーテーションを用いてブースを区切ったり、床に敷いているジョイントマットの色で視覚的に遊ぶ空間を分けたりしている。	静と動の遊びが同じ空間で行われており、目の前の遊びに集中できない時がある。個室があると対応できる幅増える。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		場合によっては系列事業所から応援を呼ぶことがある。	配置数自体は法令を遵守しているものの、実際の出勤人数は不足していると感じることが多々ある。安定した支援を提供する為には、もう少し人員が必要。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		元々設置されているパーテーション（壁面）を有効活用し、必要な情報だけが児童に伝わるように配慮している。	個室があると対応できる幅増える。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>	個室がなく常に認められる環境にはないが、パーテーション等を用いて空間を分ける対応が可能である時にはできるだけ空間分けをするように配慮している。	空間分けができる時とできない時があり、個室を必要としている児童に迅速に対応できないことがある。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		全ての意向に対処することは難しいかもしれないが、評価表の結果だけでなく日頃の保護者とのやり取りの中でご意見等があれば、すぐに共有をし改善に向けて協議を行うように心がけている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ミーティングの活用は勿論のこと、日頃の何気ない会話を通じて職員同士の考えを伝え合い、改善できることについては迅速に対応できるよう心がけている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部から研修案内を頂いた際、事業所内で希望者を募って限られた職員のみが任意で参加をしている。法人内の研修としては、虐待研修のほか事業所独自に実施することが多い。	従業者全員で、専門講師やスーパーバイザーによる研修を受けられるとスキルアップに繋がると思う。	
適切 な 支 援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		ミーティング内で意見を出し合い、最善の支援を検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			インフォーマルアセスメントは日頃から行っているが、フォーマルアセスメントには至っていない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		平日の活動内容については、職員が日替わりで立案している。土曜の活動（イベント）は案を出しあって取りまとめている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		その日出勤しない職員も情報を把握できるよう、専用のノートに内容を記載して共有漏れがないように配慮している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		その日出勤しない職員も情報を把握できるよう、専用ノートに内容を記載して共有漏れがないように配慮している。	終礼は実施できない日もあるが、朝礼同様に専用ノートに各自必要に応じて記載をし、全員で周知できるよう配慮している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>			改めて内容を理解した上で支援計画に盛り込んでいく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>			自己決定が苦手な子もいる為、どう対応していくか職員間で検討していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			該当なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		連絡ノートやSMSを通じて、様子について共有を図っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		今後、茶話会等が実施できるような体制を整えていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			訓練は実施しているが、家庭にマニュアルを周知することは行っていなかった。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		災害発生に備えた訓練は実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			予防接種の確認は未実施だった為、今後行っていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーの検査結果表を提出して頂いたり、医師から受けた指示を保護者経由で教えて頂いている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	提携している医療機関を伝え、万が一何かあった際の対応についても周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2		ミーティングで身体拘束について協議を行った。今後支援計画に盛り込んでいく。	